FREE

3.11メモリアルネットワーク基金
2026年度報告会・2027年度説明会

～　伝承の輪、支えあいの輪を未来へ　～

3.11 メモリアルネットワーク基金

東北の教訓を、社会の備えへ。

12/3（木）

2026年12月3日（木）13:00～16:00（終了後16:20まで交流タイム）

会場：仙台市市民活動サポートセンター セミナーホール（仙台市青葉区一番町4-1-3）

オンライン（Zoom）同時配信

いま、伝承の現場では

87% 伝承団体が活動継続に強い不安

いま必要なのは、次世代へつなぐ“人”への支え。

出典：2026年東日本大震災伝承活動アンケート

こんな方に

- 企業経営者・役員
- CSR・人事担当
- 防災・BCP担当
- 伝承団体・NPO関係者
- 自治体職員
- メディア関係者

主催：公益社団法人3.11メモリアルネットワーク

詳細：https://311mn.org/info110

お申込みはこちら

プログラム／登壇者／お申し込み

当日のプログラム

- 13:00　開会
- 13:10　第1部 調査結果報告
- 13:40　第2部 採択団体 成果報告
- 14:35　第3部 パネルトーク
- 15:30　第4部 寄附者コメント
- 15:40　閉会
- 15:45　2027年度基金公募説明
- 16:00〜16:20　交流・名刺交換

第2部 採択団体 成果報告（13:40〜）



次世代へつなぐ
地域防災リーダーの育成

一般社団法人トナリノ
（岩手県）

理事・事務局長

吉田 隆介 氏



事前学習×震災遺構の
防災学習プログラム

やまもと語りべの会
（宮城県）

会長

渡邉 修次 氏



原発事故の記憶と
遺構をめぐる対話

一般社団法人 大熊未来塾
（福島県）

事務局

義岡 翼 氏

第3部 パネルトーク（14:35〜）

伝承が生み出す、人の変化、社会の変化。

発災15年目に問う、民間資金が担い手を支える意義と、命を守る力の循環

東日本大震災から15年。「復興」から次のステージへの移行が必要です。
国難規模の災害に対して命を守る行動を促す「語り部」や震災伝承活動は、
資金と担い手の両面で岐路に立っています。民間寄附ならではの震災伝承の
成果を共有し、これからの伝承が生み出す人と社会の変化を語り合います。



株式会社村尾技建
専務取締役

手塚 裕樹 氏



公益財団法人 地域創造基金さなぶり
理事長

白川 由利枝 氏



Stanford Social Innovation Review Japan
副編集長

井川 定一 氏

パネリスト：中川 政治（3.11メモリアルネットワーク基金事務局）
モデレーター：三浦 隆一（3.11メモリアルネットワーク基金事務局）

寄附企業コメント：株式会社アイ工務店 様

2027年度お知らせ　「全国の伝承活動を支える新たな仕組みづくりに向けて」
株式会社良品計画 様

お申込み

参加無料・要事前申込／申込締切　12月2日（水）
詳細：https://311mn.org/info110

オンライン参加の方は、お申し込み後にZoomのURLをご案内します。

主催：公益社団法人3.11メモリアルネットワーク／お問い合わせ：基金事務局 TEL 0225-98-3691／311fund@311support.com